

『現場の声』を
日本の住宅に。



ターペン可溶2液形浸透造膜エポキシ樹脂シーラー

ホルムアルデヒド
放散等級 F☆☆☆☆



ファイブ浸透造膜シーラー

吸い込みの激しい内外部壁面(スタッコ、モルタル壁など)・屋根面(住宅用化粧スレート屋根)の塗り替え塗装時に

◎注目!

ポイント 其一、



浸透+造膜

高い浸透性と含浸補強性を持つとともに、
下地の表面に膜を形成します。

◎注目!

ポイント 其二、



量・時間を 軽減

吸い込みの激しいぜい弱素材に対し、
従来のシーラーと比べ、塗り回数
が減るため、シーラーや上塗りの
使用量が期待できます。

ポイント 其三、



ダレにくい

ダレにくい塗膜の形成により、
作業効率を向上させます。

ポイント 其の四、



色付きならでの 塗り感

含浸補強性に加え、エポキシ樹脂分が
多く茶褐色なので、塗装時に独特の
『塗った感』が得られます。

『現場の声』から 生まれた塗料です。



「塗った感が得られない」

「吸い込みが止まらない」

「ダレやすい」

◎注目!

ポイント 其の五、



上塗りの 仕上がり向上

浸透・造膜効果で再生した下地が
上塗りの仕上がりを向上させます。

ポイント 其の六、



臭気が マイルド

ターペン可溶(弱溶剤)タイプなので、
臭気がマイルドです。

ポイント 其の七、



防藻・ 防かび効果

用途

吸い込みの激しい内外部壁面・屋根面塗り替え塗装の下塗り
(内部に使用する場合は十分に換気を行ってください)

適用
下地

住宅用化粧スレート屋根、モルタル、コンクリート、窯業系サイディングボード、PC板、
ブロック、屋根用波形スレート、木部、けい酸カルシウム板などの各種素材、各種塗膜



NIPPON PAINT CO.,LTD.

※当社シーラー比



ファイブ浸透造膜シーラー

使用方法

- 塗装基準 ■希釈率／無希釈(少して希釈すると付着性が低下します)
- 可使用時間／6時間(気温23℃/湿度85%以下)
- 使用量／0.16~0.20kg/m²/回(ぬれ感が出るまでを目安としてください)
- 塗装方法／はけ・ローラー・エアレススプレー塗り
- 乾燥時間

	5℃~10℃	23℃	30℃
指触乾燥	3時間	50分	30分
塗り重ね乾燥時間	8時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内	4時間以上 7日以内

※使用量・膜厚はすべて標準の数値です。
被塗物の形状・素地の状態・気象条件・希釈率および測定機器・測定方法により増減します。
※乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

容量・荷姿

ニッパ ファイブ浸透造膜シーラー	15kgセット(塗料液/12.5kg 硬化剤/2.5kg)
	荷姿/石油缶・扁平缶 色相/茶褐色

施工上の注意事項

(詳細な内容については、各商品の
製品使用説明書などにてご確認ください)

- 山間部、あるいは夜露の早く降りる地域では、早めに塗装を終えて十分に乾燥時間を確保してください。(光沢低下、膨れ、割れ、はく離の原因になります。)
- 吸い込みが少ない素地や下地の場合は、乾燥不良による縮みや膨れが起こる可能性がありますので、各工程間の乾燥時間は十分長めにしてください。
- 使用量は、濡れ感(光沢感)が出るまでを目安としてください。素地への吸い込み箇所がある場合は、その部分を増し塗りしてください。また、シーラー乾燥後ガムテープで基材のはがれがないかチェックし、はがれなどがある場合は再度シーラーを塗装してください。
- 本品は規定の塗り重ね乾燥時間よりも早く上塗りを塗装しますと、縮みや膨れ、乾燥不良を起こしますので、塗り重ね乾燥時間を守ってください。また、吸い込みの大きい下地や素材の場合は、塗り重ね乾燥時間は長めにしてください。短時間で上塗りを塗装しますと、溶剤による膨れや縮みなどが発生するおそれがありますので避けてください。
- 高温下では硬化反応が著しく速まります。高温時の施工では、上塗りを3日以内に塗り重ねてください。
- 溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気をしてください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
- 硬化剤は十分な場合は、シンナーで再溶解する場合があります。
- 水、アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
- 硬化剤は硬化で硬化しますので密着して貯めてください。
- エポキシ樹脂系ですので、皮膚に付着するとかぶれを引き起こすおそれがあります。肌が付着しないよう特注意してください。
- 旧塗膜が発生した藻・かびは、洗浄などで必ず除去し、清浄な面としてください。付着阻害をおこなうおそれがあります。
- 既存塗膜のはく離箇所は、既存塗膜の塗装仕様でパターン合わせを行ってください。
- 改修工事にご使用の場合は、旧塗膜の種類によっては溶剤などの影響により、旧塗膜を傷め溶剤膨れや縮みなどの異常が発生する場合がありますので、旧塗膜の種類をご確認の上、塗装仕様をご検討ください。
- シーリングの上記、劣化、ひび割れなどの損傷がある場合は、打ち直しをしてください。
- 蓄熱しやすい建材(軽量モルタル、ALC、窯業サイディング、発泡ウレタン使用建材など)を使用した「高断熱型外壁」で、旧塗膜が弾性リシン、弾性スタッコ、アクリルトップなどの場合、塗り替え段階で既に旧塗膜が膨れていることがあります。そのまま塗装すると膨れがさらに拡大する可能性がありますので、完全に除去してください。また「高断熱型外壁」に塗装する場合は、蓄熱、水分、下地の状態、塗装環境など複数の条件が重なることで、建材の変形、塗膜の膨れ、はく離が生じることがありますので、最寄りの営業所などにご相談ください。
- 素地表面のアルカリ度はpH1.0以下、表面含水率は10%以下(ケツ科学社製CH-2型で測定した場合)または5%以下(ケツ科学社製H5000シリーズ:コンクリートレンジで測定した場合)の条件で塗装してください。
- 表面のごみ、ほこり、エンローレックス、レイタンスなどは除去し、目違い、ジャンカ、コールドジョイントなどは、樹脂入りセメントモルタルで平滑してください。
- ALC、多孔質下地、コンクリートブロック面など外部の素地において巣穴や段差などがある場合は、樹脂入りセメント系下地調整材(ニッパ1材力チオンファイバー、ニッパファイラー 200)などで処理してください。(合成樹脂エマルジョンパテの使用は避けてください。)
- 塗装場所の気温が5℃未満、もしくは湿度85%以上である場合、または換気が十分でなく結露が考えられる場合、塗装は避けてください。
- 塗料液と硬化剤の混合割合は、必ず守ってください。混合割合が不適切な場合、塗膜性能が発現されなかったり、仕上がりや作業性が低下することがあります。
- 屋外の塗装で降雨、降雪のおそれがある場合、および強風時は塗装を避けてください。
- 塗装時および塗装後に密閉しますと乾燥が遅れますので、換気を十分に行ってください。
- 塗装時および塗料の取り扱い時は、換気を十分に行ない、火気厳禁にしてください。
- 飛散防止のため必ず養生を行ってください。
- シーリング面への塗装は、塗膜の汚染、はく離などの不具合を起こすことがありますので、原則としてニッパ パーフェクトNBシールを除去しないでください。やむを得ず行う場合は、シーリング材が完全に硬化した後に行うものとし、塗り重ね適合性を確認し、必要な処理を行ってください。また、ニッパフリードオフプライマーを下塗りすることで、可塑剤移行による汚染の低減が図れますが、シーリング材の種類、使用条件などによりはく離、収縮割れが起こることがあります。
- 笠木、天端など長時間水が滞留する箇所では塗膜の白化、膨れなどが発生する場合がありますので、養生シートの設置方法などに配慮し、換気を促してください。
- 塗料は内容物が均一になるように攪拌してください。薄めすぎは隠れい力不足、仕上がりが不良などが起こるため規定範囲を超えて希釈しないでください。
- 汚れ、傷などにより補修塗料が必要な場合があります。使用塗料のロットは必ず控えておき、補修の際は塗料ロット、希釈率、および補修方法等の塗装条件を同一にしてください。
- クロスの上の塗装は避けてください。
- ローラー、ハケなどは、他の塗料での塗装に使用するとハジキなどが発生する恐れがありますので、十分に洗浄するか、専用でご利用ください。
- 可塑剤が多く含まれる塩ビ鋼板、塩ビラミネート、プラスチック、ゴムパッキン、合成皮革、塩ビクロスなどへの直接塗装はお避けください。また、これらの部材に塗膜が直接触れることがないようにご注意ください。
- 平滑仕上げや鏡面仕上げの場合は、素材や素地の状態によって、吸込みや巣穴によるピンホール、凹凸などを防止するため、パテ工程や研磨工程が必要になる場合があります。
- 上塗りに強溶剤系塗料のご使用は避けてください。
- 使用前に内容物が均等になるようによくはんし、開封後は一度に使い切ってください。やむを得ず保管する場合は密閉して冷蔵庫で保存し速やかに使い切ってください。塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒ししないでください。

性能

試験項目	規格	性能
容器の中での状態	かき混ぜたとき、堅い塊がなく一様になるものとする。	合格
低温安定性	塊がなく組成物の分離、凝集がないこと。	合格
塗装作業性	塗装作業に支障があってはならない。	合格
塗膜の外観	塗膜の外観が正常なものとする。	合格
上塗り適合性	上塗りに支障があってはならない。	合格
耐水性	水に浸して異常があってはならない。	合格
耐アルカリ性	24時間浸しても異常がないものとする。	合格

塗料性状

項目	値	表示	化学名	塗料液	硬化剤	成膜樹脂
ポットライフ(23℃)	6時間	消防法表示	化学名	塗料液	成膜樹脂エナメル塗料	
密度(g/cm ³)(23℃)	0.91			硬化剤	成膜樹脂クリヤー塗料	
引火点	46℃	危険物区分	危険物区分	第4類第2石油類(非水溶性)		
発火点	塗料液 288℃(参考値) 硬化剤 454℃(参考値)	危険物等級	危険物等級	Ⅲ(火気厳禁)		
有機溶剤区分	第3種等	有害物表示	塗料液	キシレン		
			硬化剤	キシレン、変性脂肪族ポリアミン		

安全衛生上の注意事項

ニッパ ファイブ浸透造膜シーラー 塗料液 横倒禁止

- ※本来の用途以外に使用しないでください。
- ※使用前に取扱説明書を理解して、取り扱ってください。
- ※熱・火花・炎・高温のもののような着火源から遠ざけてください。一禁煙です。
- ※容器を密閉してください。
- ※容器および受器を接地してください。
- ※防爆型の電気機器/換気装置/照明機器を使用してください。
- ※火花を発生しない工具を使用してください。
- ※粉じん/ガス/蒸気/スプレー等を吸入しないでください。
- ※屋外または換気の良い場所でのみ使用してください。
- ※必要な時以外は、環境への放出を避けてください。
- ※汚染された作業衣は密封袋に入れて作業場から出してください。
- ※適切な手洗いおよびうがいを十分に行ってください。
- ※適切な保護手袋・防毒マスクまたは防じんマスク/保護眼鏡/保護面/保護衣を着用してください。
- ※必要に応じて個人用保護具を使用してください。
- ※吸入した場合: 空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させてください。
- ※飲み込んだ場合: 気分が悪い時は、医師に連絡してください。口をすすいでください。
- ※眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗ってください。次に、コンタクトレンズを着用している場合は外してください。その後洗浄を続けてください。
- ※眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ※皮膚や髪に付いた場合、直ちに汚染された衣類をすべて脱ぎ取り除いてください。皮膚を流水がシャワーで洗ってください。
- ※皮膚に付いた場合、多量の水と石鹸で洗ってください。
- ※取り扱った後、手を洗ってください。
- ※皮膚刺激または発疹が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けてください。
- ※直ちに、すべての汚染された衣類を脱いでください/取り除いてください。再使用する場合には洗濯してください。
- ※粉じん、蒸気、ガス等を吸い込んで気分が悪くなった時には、安静にし、必要に応じてできるだけ医師の診察を受けてください。
- ※暴露した時、気分が悪いなどの症状がある場合は、医師に連絡してください。
- ※緊急の洗浄剤が必要な場合、直ちに特別処置を実施してください。
- ※火災時には、炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いてください。
- ※水を消火に使用しない。
- ※容器からこぼれた時には、布で拭き取って水を張った容器に保管してください。
- ※密閉して子供の手が届かないところに保管してください。
- ※直射日光や水濡れは厳禁です。
- ※塗料等の缶の積み重ねは3段までとしてください。
- ※日光から遮断し、換気の良い場所で保管してください。輸送中も50℃以上の温度に暴露しないでください。
- ※内容物/容器を廃棄する時は、国/地方自治体の規則に従って産業廃棄物として廃棄してください。
- ※塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理してください。
- ※容器、塗装具などを洗浄した排水は、そのまま地面や排水溝に流すと環境に悪影響を及ぼすおそれがありますので、排水処理場などの施設に持ち込むか、産業廃棄物処理業者に処理を依頼してください。
- ※上記の表示は一例です。色相などにより、容器の表示とは異なる場合があります。
- ※詳細な内容、表示例以外の商品については、安全データシート(SDS)をご参照ください。
- ※本製品は日本国内での使用に限定し、輸出される場合は事前にご相談ください。

危険



危険有害性情報

引火性液体および蒸気/皮膚刺激/強い眼刺激/発がんのおそれの疑い/生殖能力または胎児への悪影響のおそれ/呼吸刺激を起こすおそれ、または、眠気やめまいのおそれ/長期にわたるまたは反復暴露による臓器の障害のおそれ/水生生物に非常に強い毒性(急性)/長期的影響により水生生物に非常に強い毒性

日本ペイント株式会社

北海道支店 ☎ 011-370-3101	近畿支店 ☎ 06-6455-9608
東北支店 ☎ 022-232-6712	中国支店 ☎ 082-281-2180
関東支店 ☎ 03-5479-3614	四国支店 ☎ 0877-56-2346
北関東信越支店 ☎ 03-5479-3614	九州支店 ☎ 092-751-9861
中部支店 ☎ 052-461-1960	

- 本カタログの内容については予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本カタログ中の製品名・会社名は、日本ペイントホールディングス株式会社または日本ペイント株式会社・その他の会社の、日本およびその他の国の登録商標または商標です。
- ©Copyright 2018 NIPPON PAINT Co., Ltd. All rights reserved.
- 日本ペイントホームページ <http://www.nipponpaint.co.jp/>

カタログNo.
NP-W106
TK181002T
2018年10月現在